

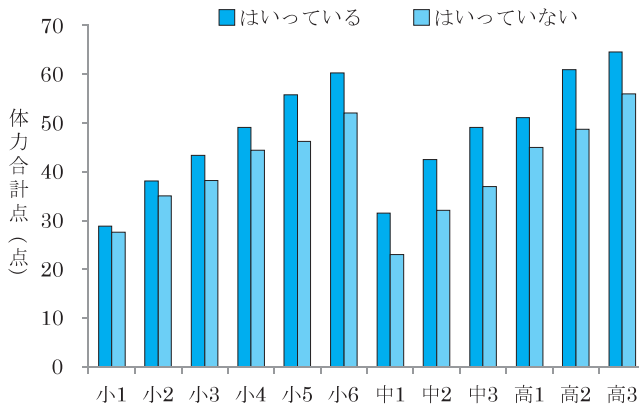
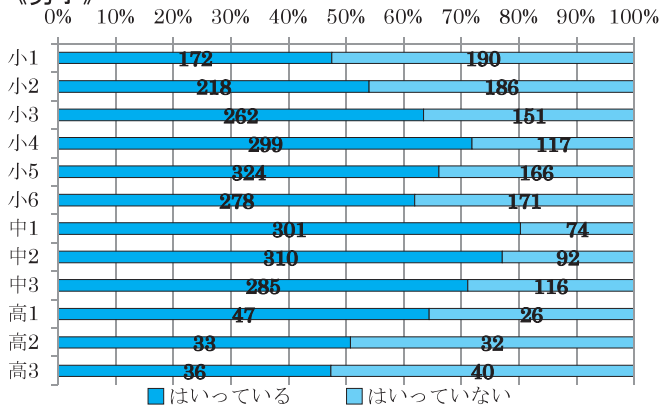
第 5 章

質問紙調査とのクロス集計の結果及び
総運動時間が60分未満の児童・生徒について

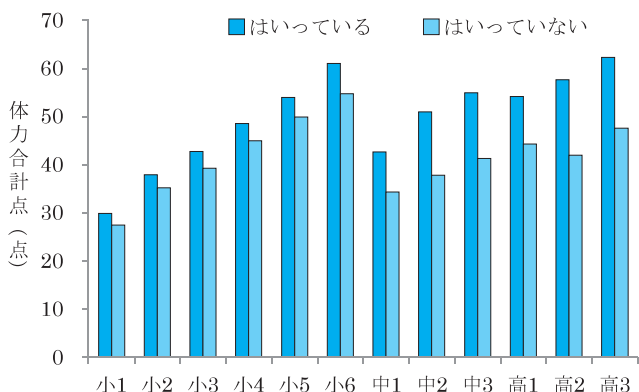
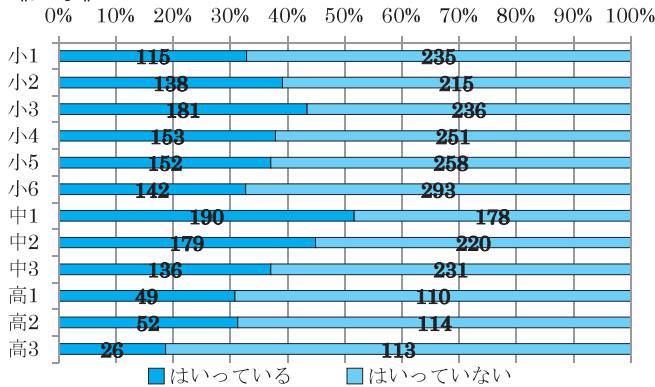
I 集計の結果

1. 運動部やスポーツクラブへの所属状況

《男子》



《女子》



小学校では、1年生から徐々に増加し、4年生が71%と高くなる。その後は徐々に低下し、小学校6年生では62%まで減少するが、中学校1年生になると80%と最も高くなる。その後は高等学校3年生まで徐々に減少している。全体的に男子の所属している割合は、小学校1年生と高等学校3年生を除いて50%以上と高い傾向が見られた。

小学校1年生を除いて全ての学年において、「所属している」と回答した子どもが「所属していない」と回答した子どもよりも有意に体力合計点が高いことが認められた。所属している割合が多いほど体力合計点が高くなっている。

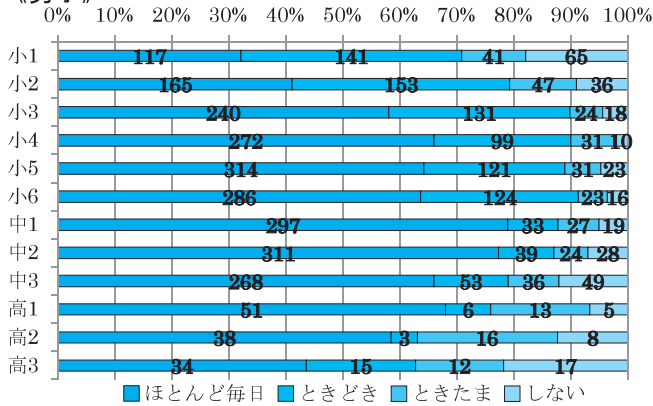
小学校では、1年生から徐々に増加し、3年生が42%と最も高くなる。その後は徐々に減少し、小学校6年生では32%まで低くなる。中学校・高等学校では、中学校1年生が51%と最も高くなる。その後は徐々に減少し、高等学校3年生では19%と最も低くなる。

また、男子と比較すると、女子の方がどの学年も低くなっている。

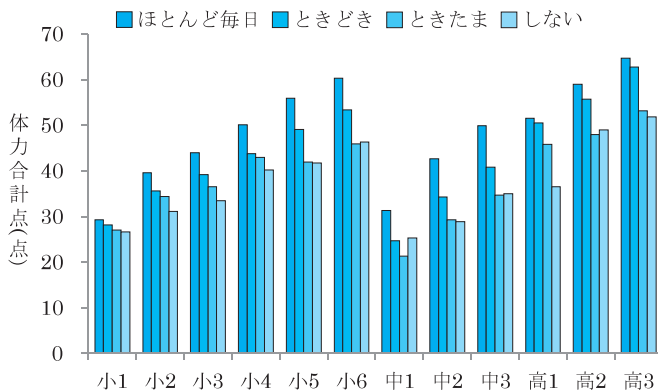
全ての学年において、「所属している」と回答した子どもが「所属していない」と回答した子どもよりも有意に体力合計点が高いことが認められた。男子と同様に所属している割合が多いほど体力合計点が高くなっている。

2. 運動やスポーツの1週間の実施頻度（体育の授業を除く）

《男子》



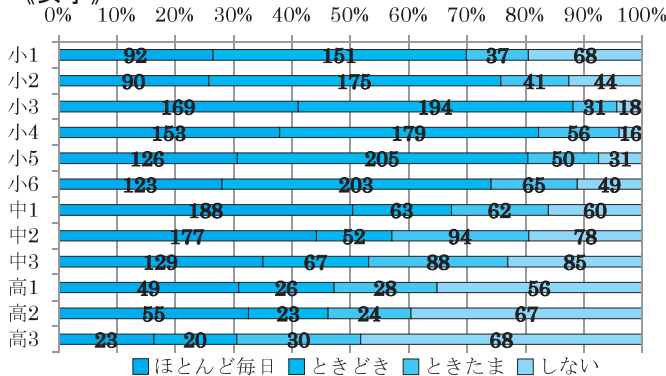
「ほとんど毎日」と「ときどき」を合わせた割合は、小学校1年生から徐々に増加し、小学校3～6年生が90%程度と最も高く、中学校1・2年生においても85～90%程度と高い。その後、徐々に減少し、中学校3年生で79%、高等学校1年生で72%となり、高等学校2・3年生では60%程度にまで減少している。



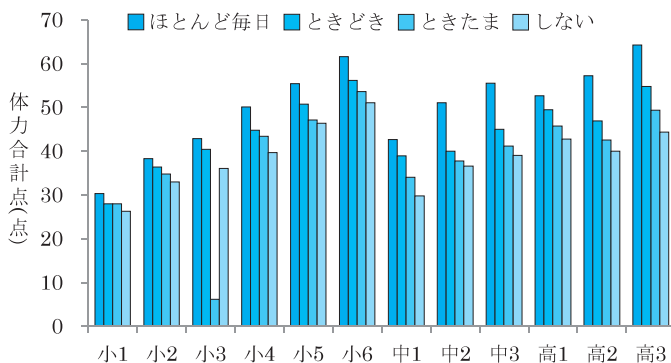
全ての学年において、「ほとんど毎日」、「ときどき」と回答した子どもは、「ときたま」、「しない」と回答した子どもより体力合計点が高い傾向が見られた。

特に小学校1年生を除く全ての学年においては、統計的に有意に体力合計点が高いことが認められた。

《女子》



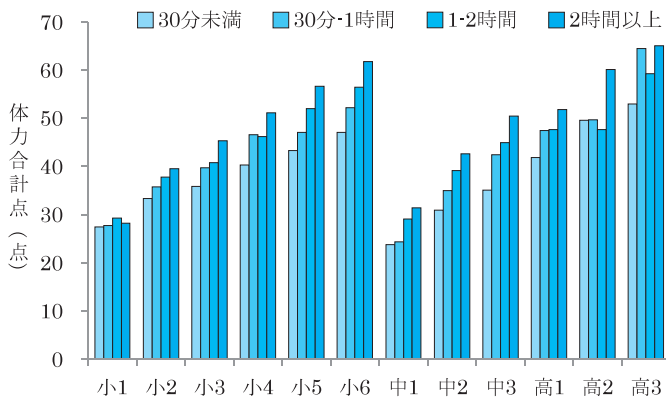
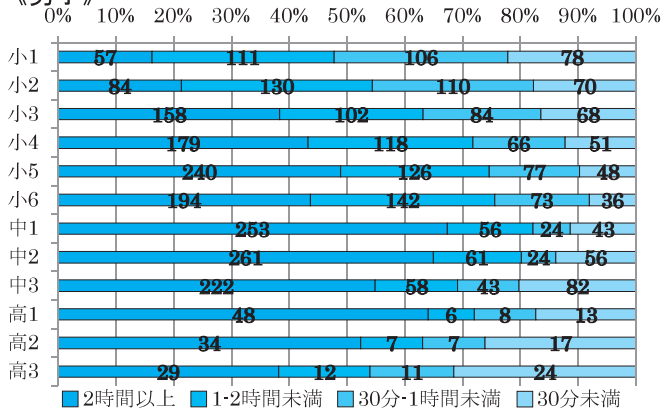
「ほとんど毎日」と「ときどき」を合わせた割合は、小学校1年生から徐々に増加し、小学校3年生が88%と最も高く、小学校4～6年生では75～80%と徐々に減少している。その後、中学校1年生が67%、中学校2・3年生が55%程度、高等学校1・2年生が45%程度、3年生が30%と徐々に減少している。



全ての学年において、「ほとんど毎日」、「ときどき」と回答した子どもは、「ときたま」、「しない」と回答した子どもより、統計的に有意に体力合計点が高いことが認められた。

3. 運動やスポーツの1日の実施時間（体育の授業を除く）

《男子》



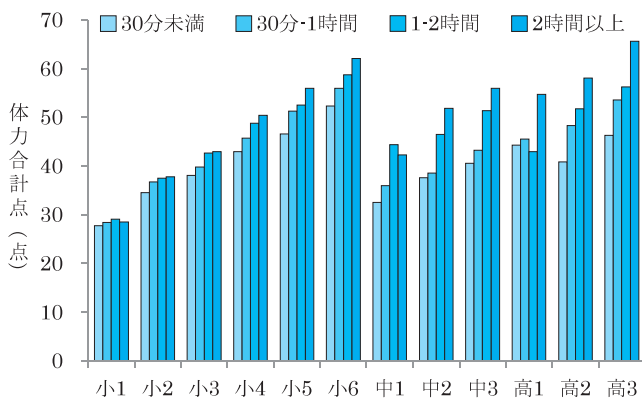
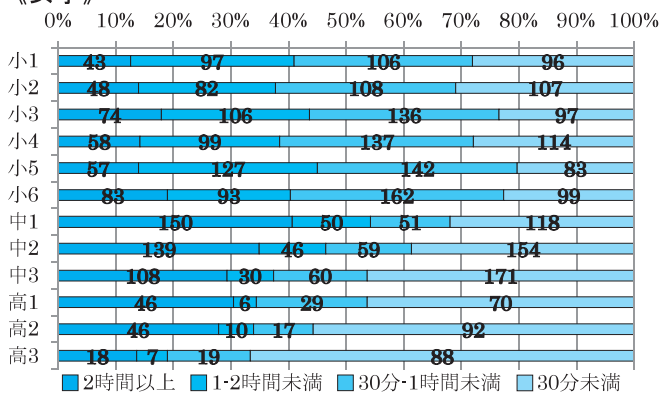
「2時間以上」と「1-2時間未満」を合わせた割合は、小学校1年生の48%から中学校1年生の82%まで徐々に増加する傾向が見られた。その後、徐々に減少していき、高等学校3年生では、54%となる。

また、「30分未満」の割合は、中学校1年生から増加し、高等学校3年生では、32%となる。

小学校1年生を除く、全ての学年で、「2時間以上」と回答した子どもの体力合計点が他の項目に対して高い傾向が見られた。

特に、小学校1年生を除く、全ての学年で、「2時間以上」と回答している子どもは、「30分未満」と回答している子どもよりも統計的に有意に体力合計点が高いことが認められた。

《女子》



「2時間以上」と「1-2時間未満」を合わせた割合は、小学校では、40%程度で推移する。その後、中学校1年生で、54%と増加するが、徐々に減少していき、高等学校3年生では、19%となる。

また、男子と比較すると、女子の方がどの学年も低くなっている。

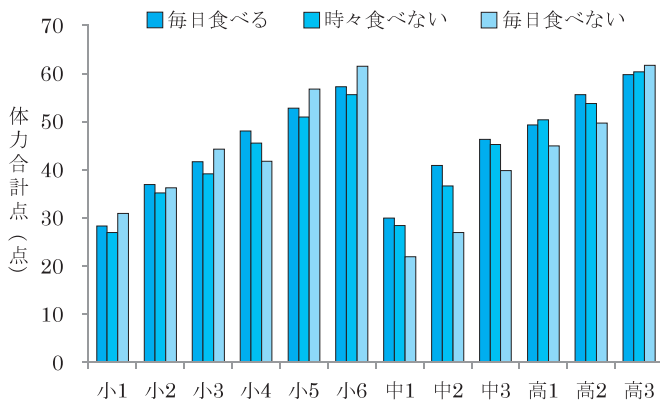
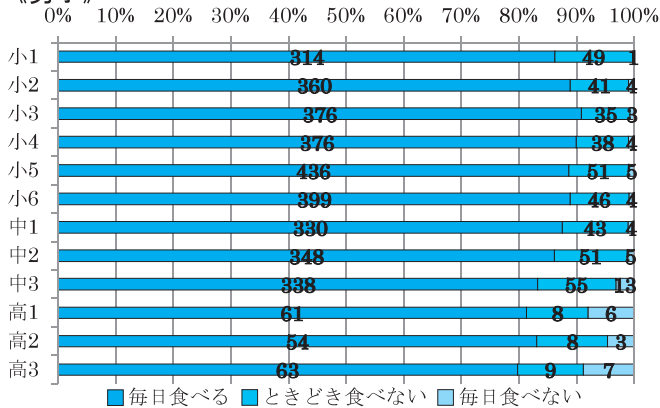
「30分未満」の割合は、中学校1年生から増加し、高等学校3年生では、67%となっている。

小学校1年生と中学校1年生を除く、全ての学年で、「2時間以上」と回答した子どもの体力合計点が他の項目に対して高い傾向が見られた。

特に、全ての学年で「2時間以上」と回答した子どもは、「30分未満」と回答した子どもよりも統計的に有意に体力合計点が高いことが認められた。

4. 朝食摂取状況

《男子》



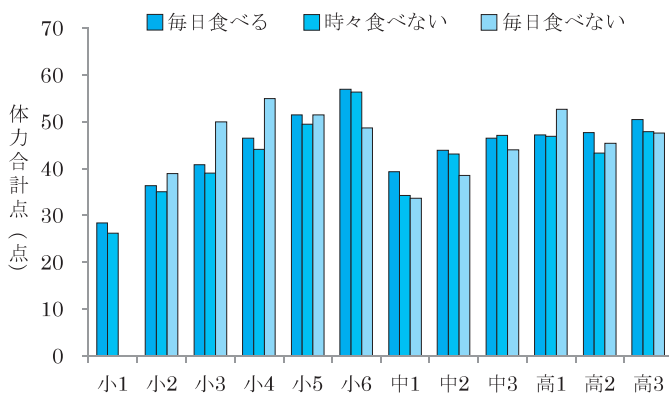
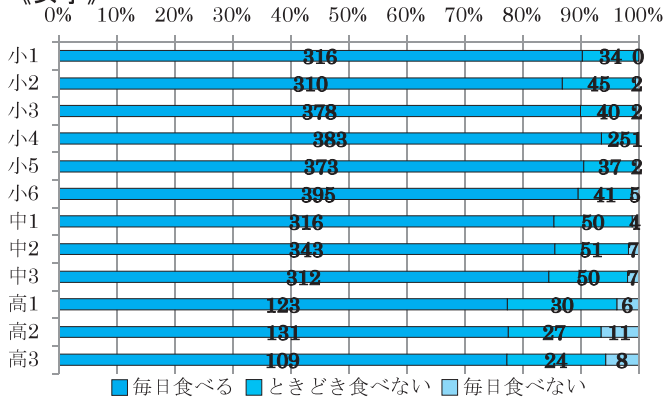
「毎日食べる」と回答した子どもの割合は、小学校3年生が91%と最も高く、中学校1年生が88%、高等学校3年生が80%と、徐々に減少している。

「毎日食べない」と回答した子どもの割合は、中学校3年生で3%と徐々に増加し、高等学校1・3年生では、10%程度に増加している。

小学校4年生、中学校1～3年生、高等学校2年生において、「毎日食べる」と回答した子どもは、「時々食べない」、「毎日食べない」と回答した子どもよりも体力合計点が高い傾向が見られた。

特に、中学校2年生においては、統計的に有意に体力合計点が高いことが認められた。

《女子》



「毎日食べる」と回答した子どもの割合は、小学校4年生が94%と最も高く、中学校1年生が85%、高等学校1～3年生が75%程度と、徐々に減少している。また、男子と比較すると、高等学校1～3年生は、低くなっている。

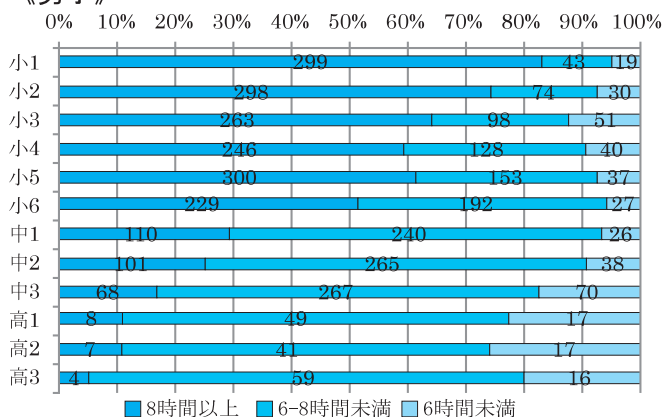
「毎日食べない」と回答した子どもの割合は、徐々に増加する傾向が見られた。

小学校6年生、中学校1・2年生において、「毎日食べる」と回答した子どもは、「時々食べない」、「毎日食べない」と回答した子どもよりも体力合計点が高い傾向が見られた。

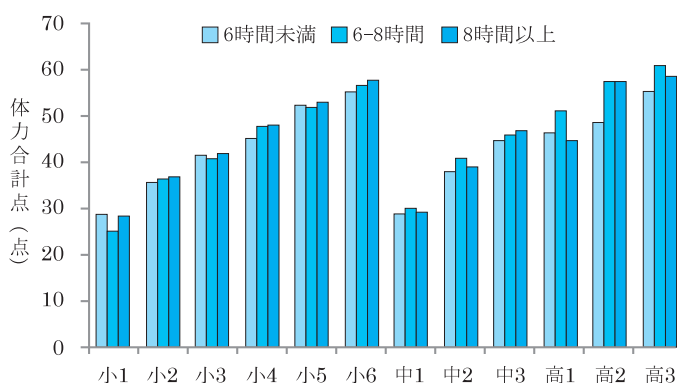
特に、中学校1年生では、「毎日食べる」と回答した子どもの体力合計点が「時々食べない」と回答した子どもより、統計的に有意に体力合計点が高いことが認められた。

5. 1日の睡眠時間

《男子》



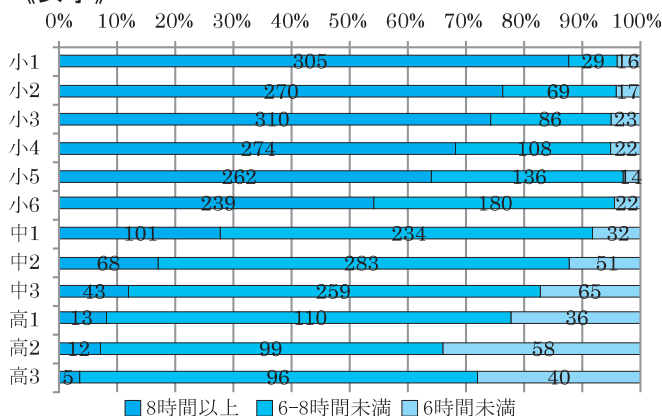
「8時間以上」の割合は、小学校1・2年生が75～80%程度と最も高く、小学校3～6年生で50～60%程度、中学校1～3年で20～30%程度、高等学校1～3年生で10%程度である。学年が上がるに連れて1日の睡眠時間が減少する傾向にある。



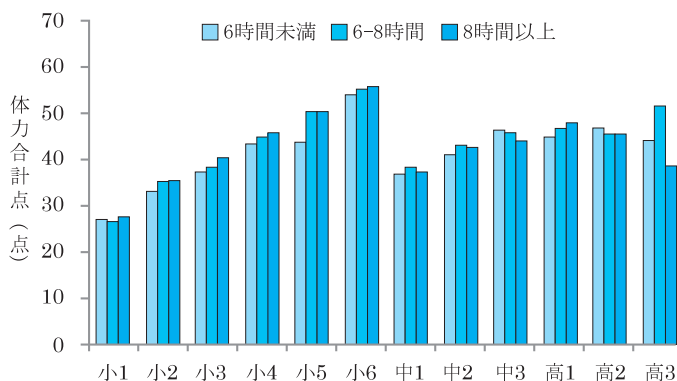
小学校4～6年生、中学校2・3年生、高等学校2・3年生において、「8時間以上」、「6-8時間未満」と回答した子どもは「6時間未満」と回答した子どもよりも体力合計点が高い傾向が見られた。

特に、小学校1年生、高等学校1・2年生においては、統計的に有意に体力合計点が高いことが認められた。

《女子》



「8時間以上」の割合は、小学校1年生が90%程度と最も高く、小学校2～6年生で50～70%程度、中学校1～3年で10～30%程度、高等学校1～3年生で5～10%程度と、男子と同様に1日の睡眠時間が減少する傾向にある。

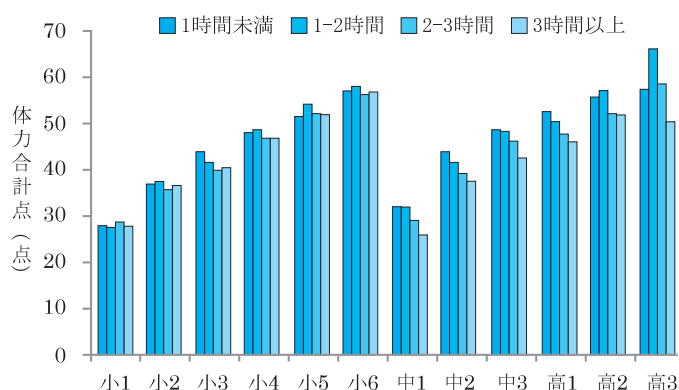
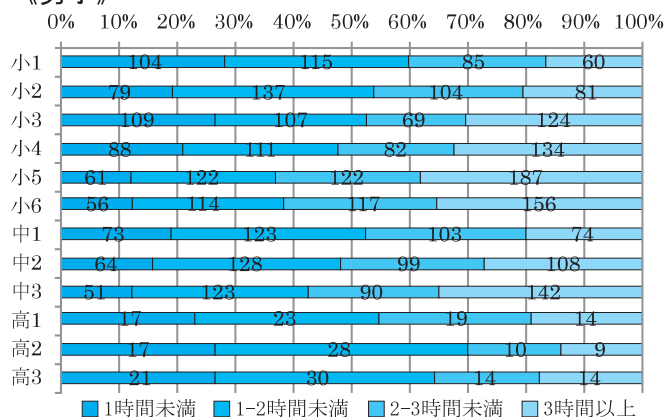


小学校2～6年生、中学校1・2年生、高等学校1年生において、「8時間以上」、「6-8時間未満」と回答した子どもは「6時間未満」と回答した子どもよりも体力合計点が高い傾向が見られた。

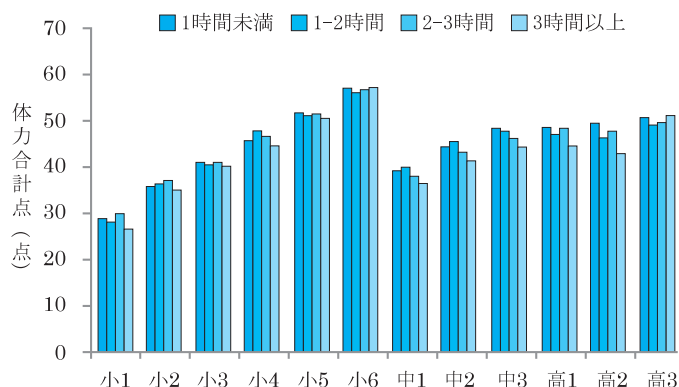
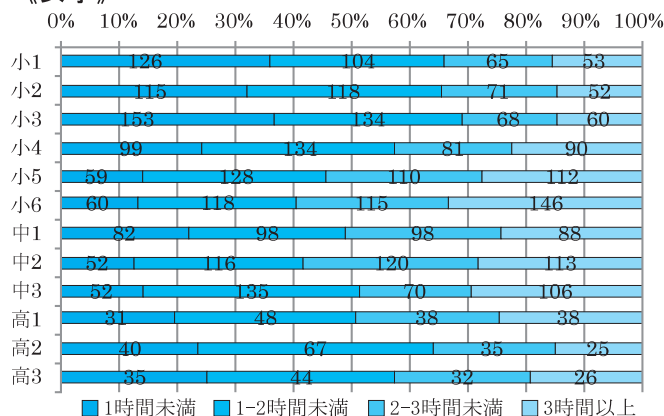
特に、小学校3・5年生、高等学校3年生においては、統計的に有意に体力合計点が高いことが認められた。

6. テレビ等の視聴時間

《男子》



《女子》



テレビ等の視聴時間が「3時間以上」の割合が、小学校5・6年生で35～40%程度と最も高く、中学校1・2年生で20～30%程度、高等学校1～3年生で10～20%程度と徐々に減少している。

テレビ等の視聴時間が「1時間未満」の割合が、小学校1～4年生、高等学校1～3年生で20～30%程度と高い割合であった。

小学校1・2年生を除く全ての学年において、「1時間未満」「1-2時間未満」「2-3時間未満」と回答した子どもは「3時間以上」と回答した子どもよりも体力合計点が高い傾向が見られた。

特に、小学校3年生、中学校1～3年生、高等学校3年生においては、統計的に有意に体力合計点が高いことが認められた。

テレビ等の視聴時間が「3時間以上」の割合が、小学校6年生で35%程度と最も高く、中学校1～3年生で25～30%程度、高等学校2・3年生で15～20%程度と徐々に減少している。

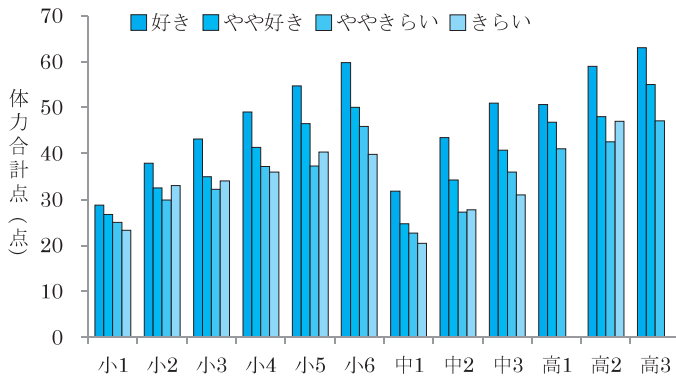
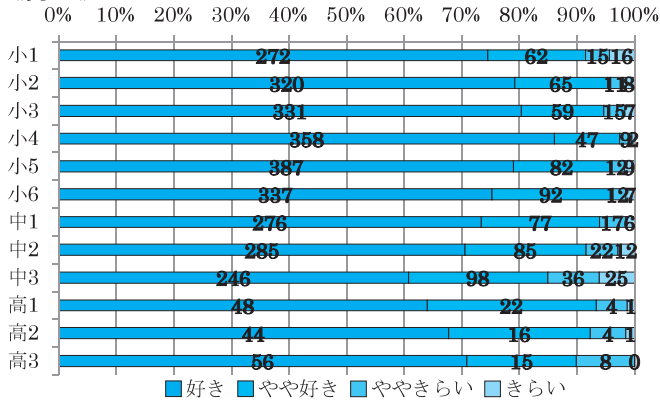
テレビ等の視聴時間が「1時間未満」の割合が、小学校1～4年生で25～35%、高等学校1～3年生で20～25%程度と高い割合であった。

小学校6年生、高等学校3年生を除く全ての学年において、「1時間未満」「1-2時間未満」「2-3時間未満」と回答した子どもは「3時間以上」と回答した子どもよりも体力合計点が高い傾向が見られた。

特に、小学校1・4年生、中学校2年生においては、統計的に有意に体力合計点が高いことが認められた。

7. 運動やスポーツの好き・嫌い

《男子》

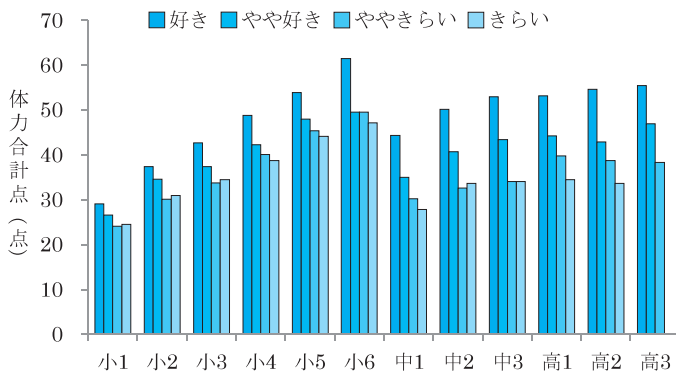
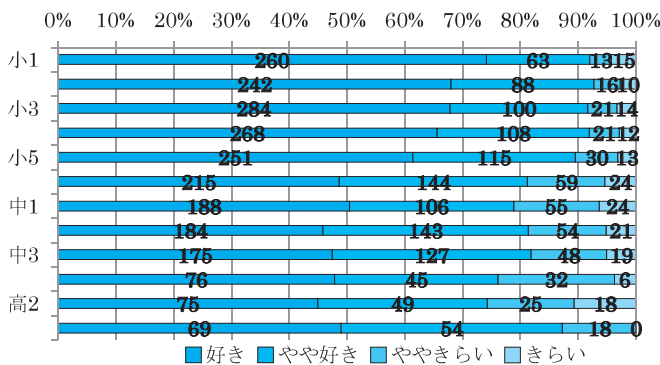


「好き」と「やや好き」を合わせた割合は、小学校4年生が97%と最も高く、中学校3年生が85%で最も低い。また、中学校3年生と高等学校3年生以外は、「好き」と「やや好き」を合わせた割合が90%を超えている。

全ての学年において、「好き」、「やや好き」と回答した子どもは「ややきらい」、「きらい」と回答した子どもよりも体力合計点が高い傾向が見られた。

特に高等学校1年生以外は、「好き」と回答した子どもは、他の回答の子どもよりも有意に体力合計点が高いことが認められた。

《女子》



「好き」と「やや好き」を合わせた割合は、小学校1～4年生で90%程度と高くなっており、高等学校2年生が74%で最も低い。

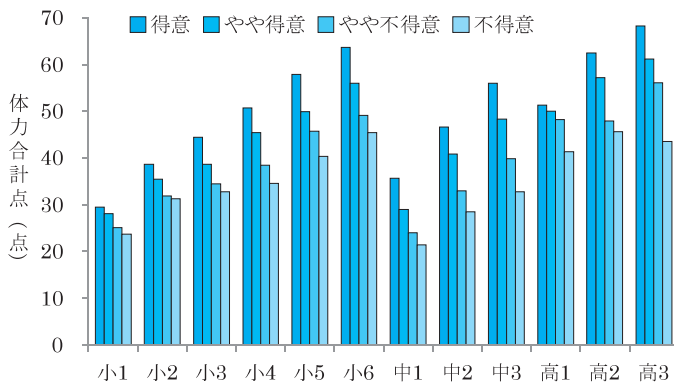
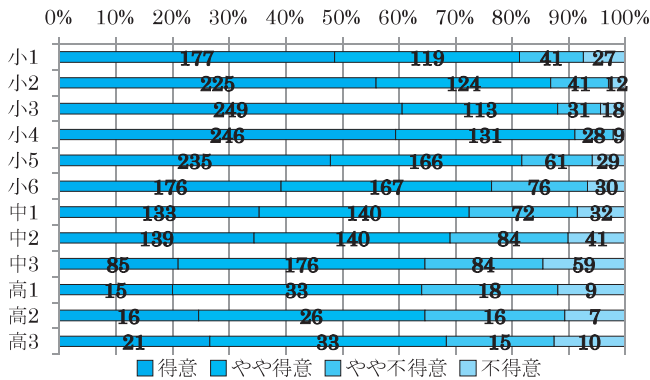
また、男子と比較すると、女子の方が「ややきらい」、「きらい」と回答した割合が高くなっている。

全ての学年において、「好き」、「やや好き」と回答した子どもは「ややきらい」、「きらい」と回答した子どもよりも体力合計点が高い傾向が見られた。

さらに、全ての学年において、「好き」と回答した子どもは、他の回答の子どもよりも有意に体力合計点が高いことが認められた。

8. 運動やスポーツの得意・不得意

《男子》



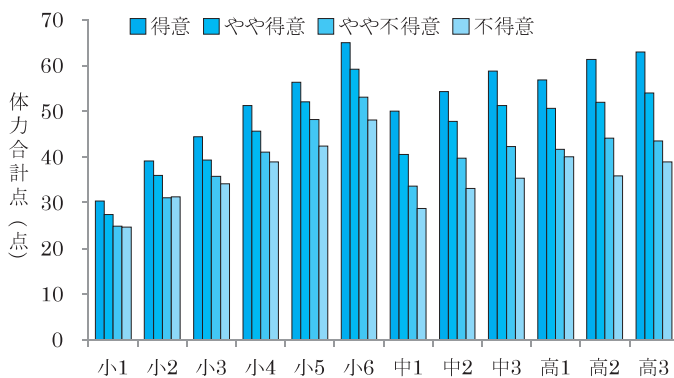
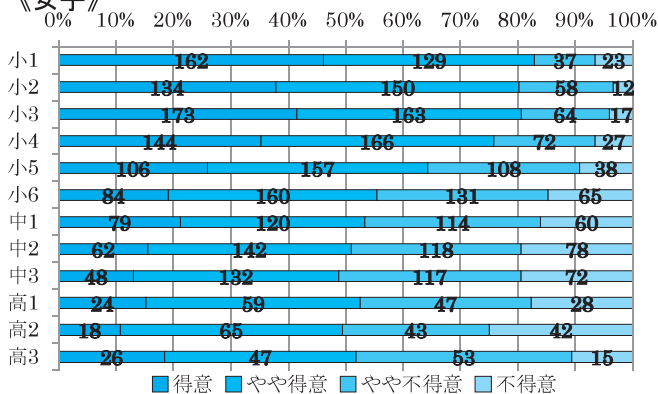
「得意」と「やや得意」を合わせた割合は、小学校4年生が91%と最も高く、中学校1～3年生で70%程度、高等学校1・2年生で65%程度と、徐々に低下している。

また、「やや不得意」と「不得意」を合わせた割合は、小学校4年生～高等学校2年生において増加している。

全ての学年において、「得意」、「やや得意」と回答した子どもは「やや不得意」、「不得意」と回答した子どもよりも体力合計点が高い傾向が見られた。

特に高等学校1年生以外は、「得意」と回答した子どもは、他の回答の子どもよりも有意に体力合計点が高いことが認められた。

《女子》



「得意」と「やや得意」を合わせた割合は、小学校1～3年生で80%程度と高くなっている。また、中学校2・3年生、高等学校1～3年生が50%程度と徐々に減少している。

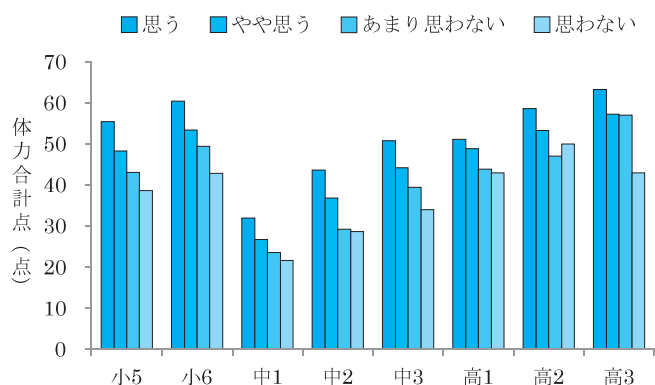
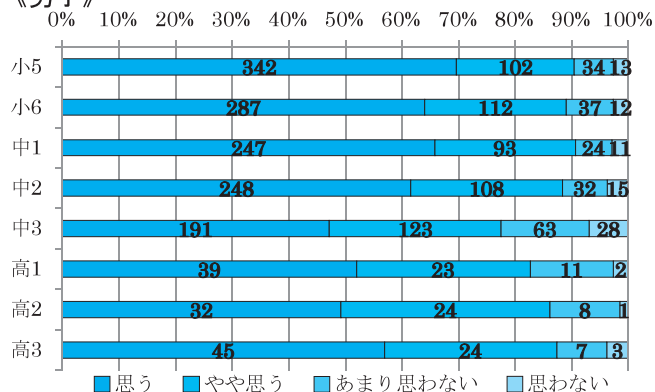
また、男子と比較すると、女子の方が「やや不得意」、「不得意」と回答した割合が高くなっている。

全ての学年において、「得意」、「やや得意」と回答した子どもは「やや不得意」、「不得意」と回答した子どもよりも体力合計点が高い傾向が見られた。

さらに、全ての学年において、「得意」と回答した子どもは、他の回答の子どもよりも有意に体力合計点が高いことが認められた。

9. 運動やスポーツをもっとしたいか

《男子》



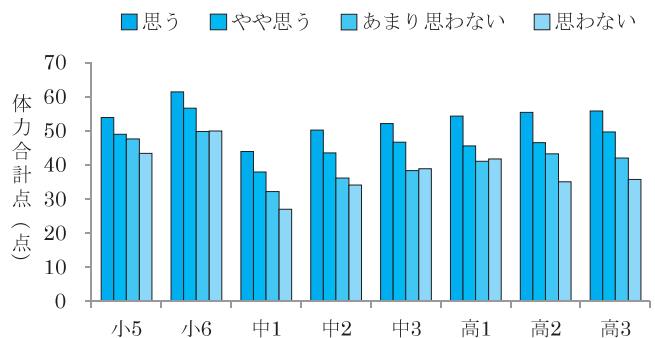
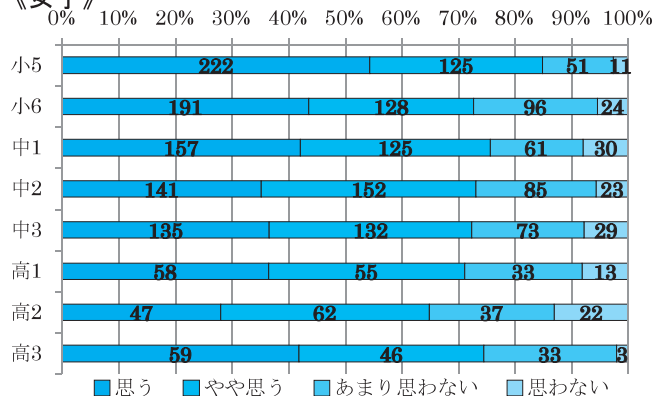
「思う」と「やや思う」を合わせた割合は、小学校5年生～中学校2年生が90%程度と最も高い。

一方「あまり思わない」と「思わない」を合わせた割合は、中学校3年生の22%が最も高く、高等学校1～3年生でも10%を超える割合となっている。

全ての学年において、「思う」、「やや思う」と回答した子どもは「あまり思わない」、「思わない」と回答した子どもよりも体力合計点が高い傾向が見られた。

特に、高等学校1年生を除く全ての学年で、「思う」と回答した子どもは、「思わない」と回答した子どもよりも統計的に有意に体力合計点が高いことが認められた。

《女子》



「思う」と「やや思う」を合わせた割合は、小学校5年生が85%と最も高い。

一方「あまり思わない」と「思わない」を合わせた割合は小学校5年生を除く全ての学年で20%を超えており、特に高等学校2年生は35%と最も高い。

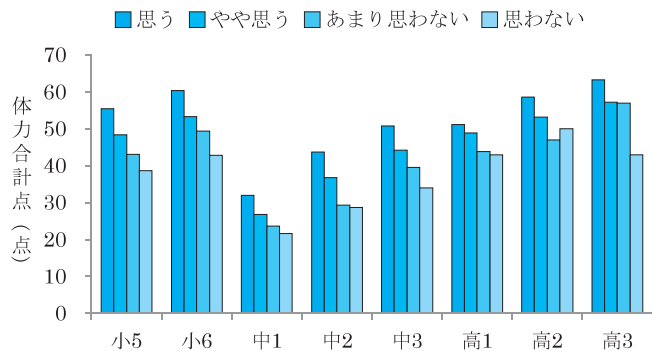
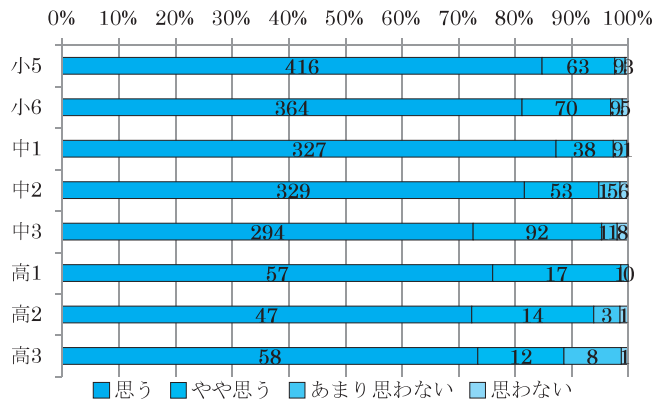
また、男子と比較すると、女子の方がどの学年も低くなっている。

全ての学年において、「思う」、「やや思う」と回答した子どもは「あまり思わない」、「思わない」と回答した子どもよりも体力合計点が高かった。

また、全ての学年において、「思う」と回答した子どもは、「思わない」と回答した子どもよりも統計的に有意に体力合計点が高いことが認められた。

10. 運動やスポーツは体力の向上に大切だと思うか

《男子》

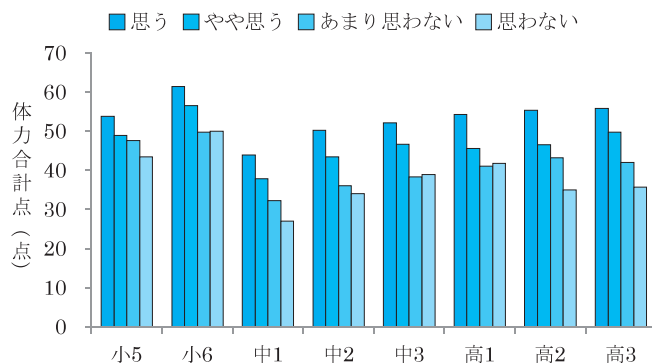
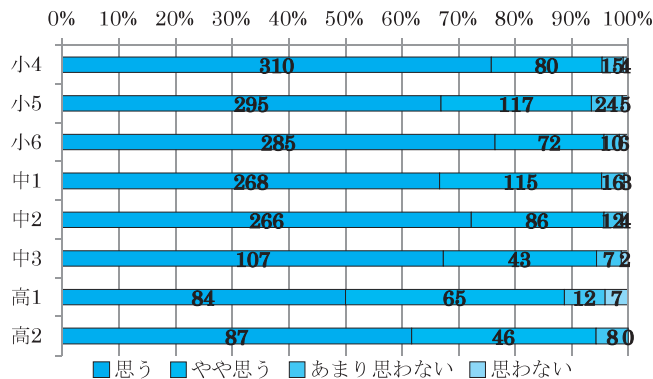


「思う」と「やや思う」を合わせた割合は、小学校5年生～高等学校2年生が95%を超えており、高等学校3年生で89%とやや低下している。

全ての学年において、「思う」、「やや思う」と回答した子どもは「あまり思わない」、「思わない」と回答した子どもよりも体力合計点が高い傾向が見られた。

特に中学校1～3年生で、「思う」と回答した子どもは、「思わない」と回答した子どもよりも統計的に有意に体力合計点が高いことが認められた。

《女子》



「思う」と「やや思う」を合わせた割合は、高等学校1年生を除く全ての学年で95%程度となっている。

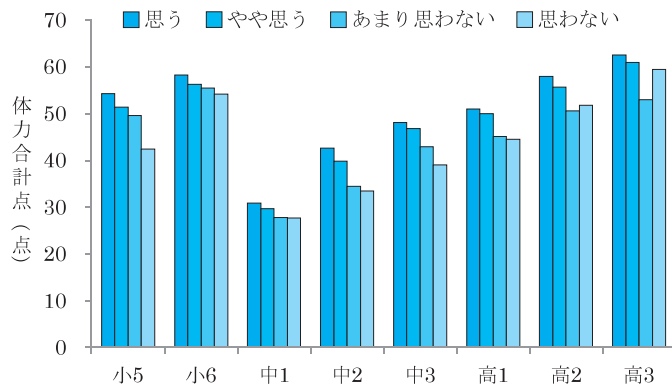
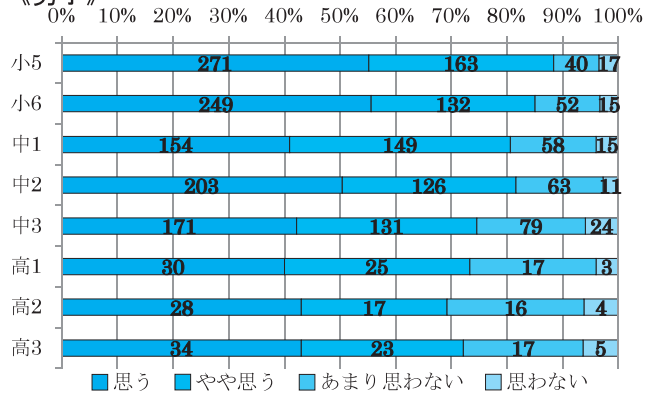
また、高等学校1年生は89%となっている。

全ての学年において、「思う」、「やや思う」と回答した子どもは「あまり思わない」、「思わない」と回答した子どもよりも体力合計点が高かった。

特に中学校1年生・高等学校2年生で、「思う」と回答した子どもは、「思わない」と回答した子どもよりも統計的に有意に体力合計点が高いことが認められた。

11. 食事や睡眠時間の様子は体力の向上に関係していると思うか

《男子》

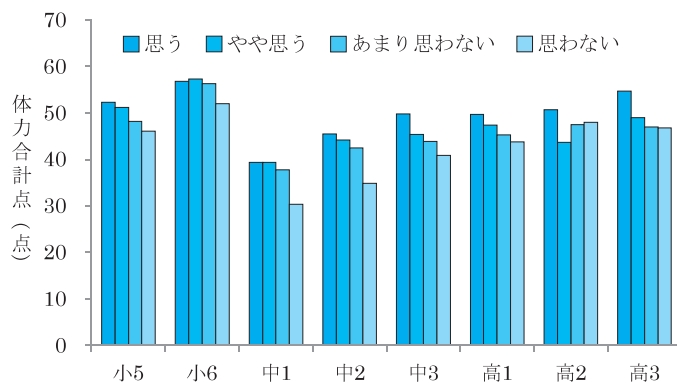
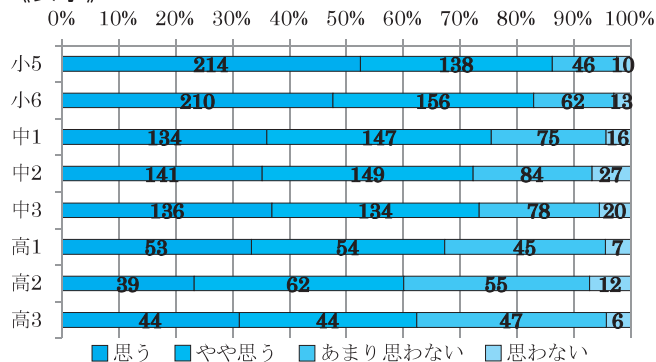


「思う」と「やや思う」を合わせた割合は、小学校5・6年生が85%程度と最も高く、中学校1・2年生で80%程度、中学校3年生と高等学校1～3年生で70～75%程度と、徐々に低下している。

全ての学年において、「思う」、「やや思う」と回答した子どもは「あまり思わない」、「思わない」と回答した子どもよりも体力合計点が高い傾向が見られた。

特に、小学校5年生、中学校2・3年生、高等学校3年生においては、統計的に有意に体力合計点が高いことが認められた。

《女子》



「思う」と「やや思う」を合わせた割合は、小学校5・6年生が85%程度と最も高く、中学校1～3年生で75%程度、高等学校1～3年生では、60～65%程度と徐々に低下している。

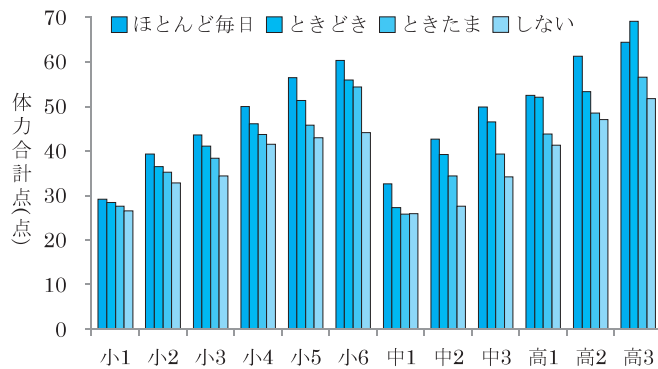
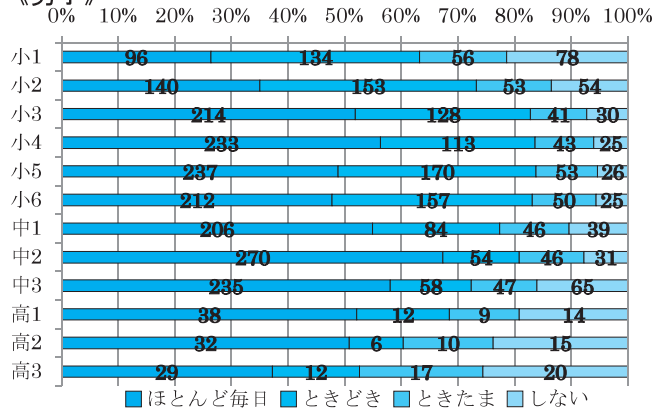
また、男子と比較すると、女子の方がどの学年も低くなっている。

高等学校2年生を除く全ての学年において、「思う」、「やや思う」と回答した子どもは「あまり思わない」、「思わない」と回答した子どもよりも体力合計点が高い傾向が見られた。

特に、小学校5年生、中学校1～3年生、高等学校3年生においては、統計的に有意に体力合計点が高いことが認められた。

12. 運動やスポーツの冬期の実施頻度（体育授業を除く）

《男子》

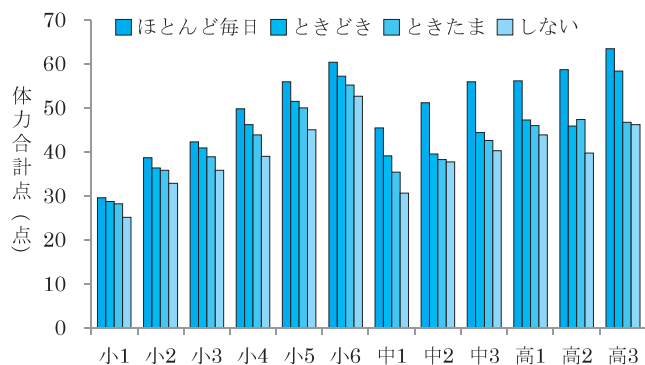
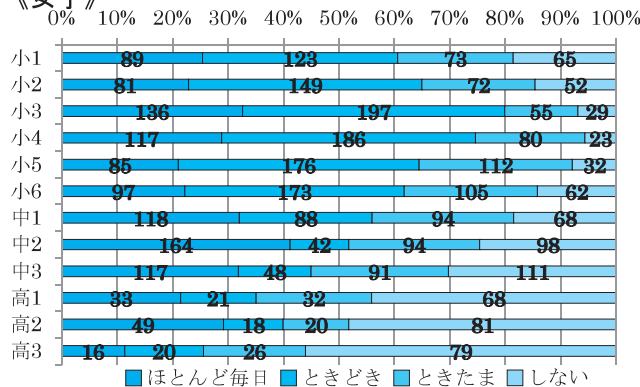


「ほとんど毎日」と「ときどき」を合わせた割合は、小学生では学年が上がるにつれて高くなり、小学校3～6年生で85%程度と最も高く、中学校・高等学校では、学年が上がるにつれて減少し、高等学校3年生では50%近くまで減少している。また、「2. 運動やスポーツの1週間の実施頻度」と比較すると、実施頻度が少なくなっている。

高等学校3年生を除く全ての学年において、実施頻度が高いほど、体力合計点が高い傾向が見られた。

また、小学校1年生を除く全ての学年において、「ほとんど毎日」と回答した子どもは、「しない」と回答した子どもよりも統計的に有意に体力合計点が高いことが認められた。

《女子》



「ほとんど毎日」と「ときどき」を合わせた割合は、小学校3年生が約80%と最も高く、小学校4年生から学年が上がるにつれて低下する傾向が見られる。

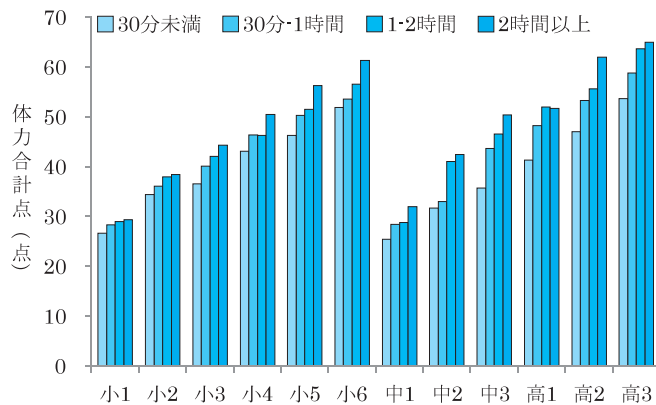
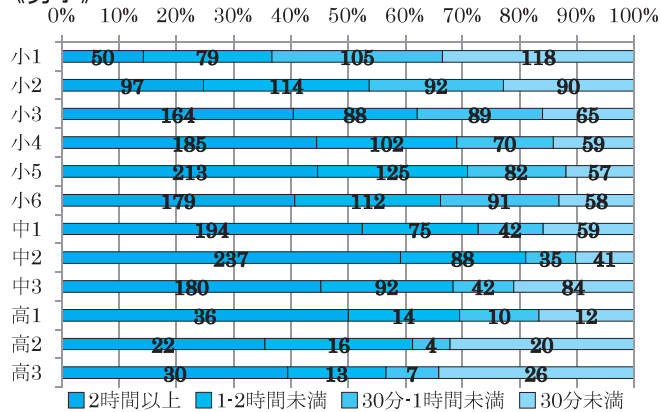
男子と比較すると、低下する傾向が低い学年で始まり、中学2年生で50%近くまで減少している。「しない」と回答した割合が、高等学校から大きく増加している。

高等学校2年生を除く全ての学年において、実施頻度が高いほど、体力合計点が高くなっている。

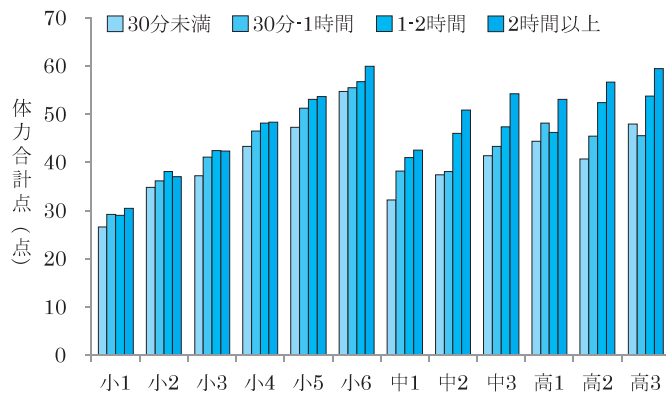
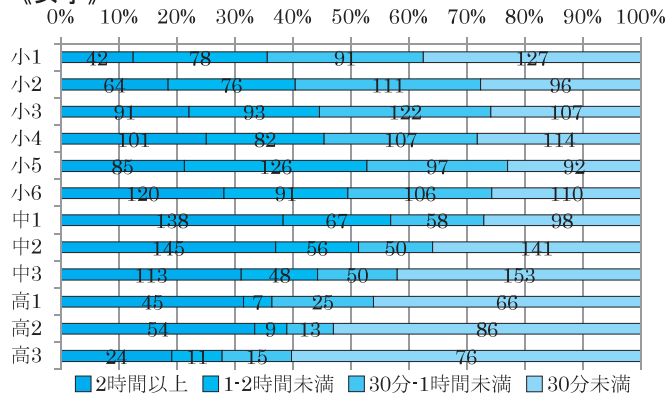
全ての学年において、「ほとんど毎日」と回答した子どもは、「しない」と回答した子どもよりも統計的に有意に体力合計点が高いことが認められた。

13. 運動やスポーツの冬期の実施時間

《男子》



《女子》



「2時間以上」と「1-2時間未満」を合わせた割合は、小学校1年生では36%だったものが、中学校2年生まで上昇し、81%と最も高く、中学校3年生・高等学校1年生で70%程度、高等学校2・3年生で55～60%程度と、徐々に減少している。

全ての学年において、「2時間以上」、「1-2時間」と回答した子どもは「30分-1時間」、「30分未満」と回答した子どもよりも体力合計点が高い傾向が見られた。特に、小学校1年生以外で、「2時間以上」と回答した子どもは、「30分未満」と回答した子どもよりも、統計的に有意に体力合計点が高いことが認められた。

「3. 運動やスポーツの1日の実施時間」と比較すると回答の割合は同様の傾向になった。

「2時間以上」と「1-2時間未満」を合わせた割合は、小学校1年生では35%だったものが、中学校1年生まで上昇し、56%と最も高く、中学校2・3年生で45～50%、高等学校1～3年生で30～40%程度と、徐々に減少している。

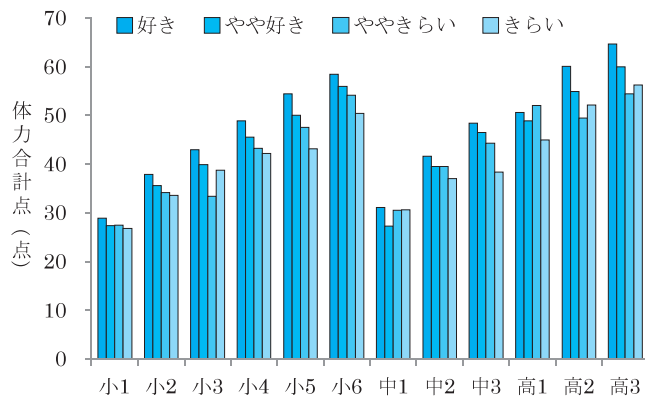
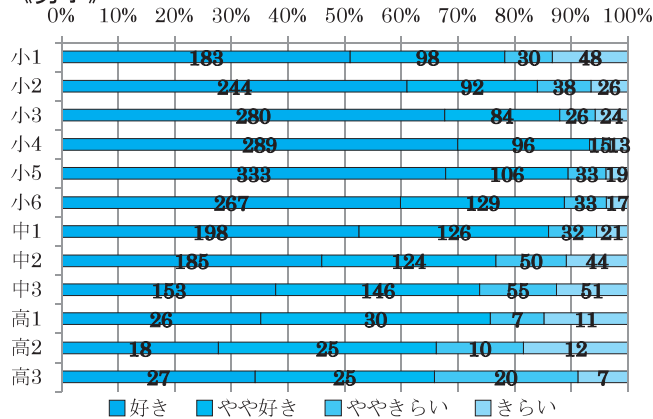
また、男子と比較すると、女子の方がどの学年も低くなっている。

全ての学年において、「2時間以上」、「1-2時間」と回答した子どもは「30分-1時間」、「30分未満」と回答した子どもよりも体力合計点が高い傾向が見られた。特に、小学校2年生以外で、「2時間以上」と回答した子どもは、「30分未満」と回答した子どもよりも、統計的に有意に体力合計点が高いことが認められた。

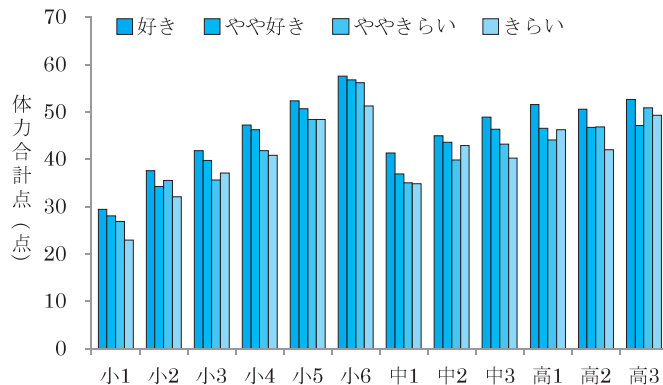
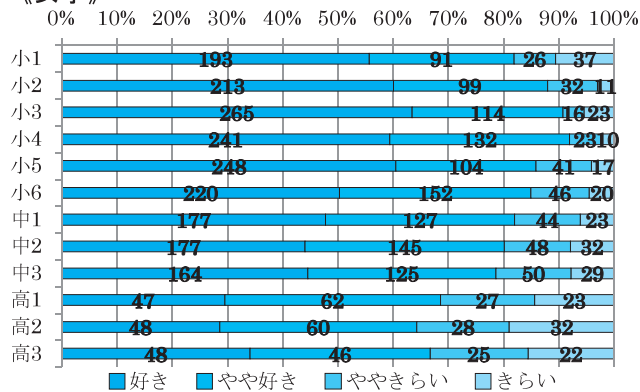
「3. 運動やスポーツの1日の実施時間」と比較すると回答の割合は同様の傾向になった。

14. ウィンタースポーツの好き・嫌い

《男子》



《女子》



「好き」と「やや好き」を合わせた割合が高等学校2・3年生以外で70%を越えており、小学校4年生で、93%と最も高い。

また、「好き」と「やや好き」を合わせた割合が、小学校4年生以降徐々に減少している。

「7. 運動やスポーツの好き・嫌い」と比較して、「やや嫌い」と「嫌い」の割合は全体的に増加している。

高等学校1年生以外の学年において、「好き」と回答した子どもの体力合計点が高い傾向が見られた。

特に小学校2・5・6年生・中学校3年生で「好き」と回答した子どもは、「嫌い」と回答した子どもよりも統計的に有意に体力合計点が高いことが認められた。

「好き」と「やや好き」を合わせた割合が小学校1年生～中学校2年生で80%を越えており、小学校4年生で92%と最も高い。

また、「好き」と「やや好き」を合わせた割合が、小学校4年生以降徐々に減少している。

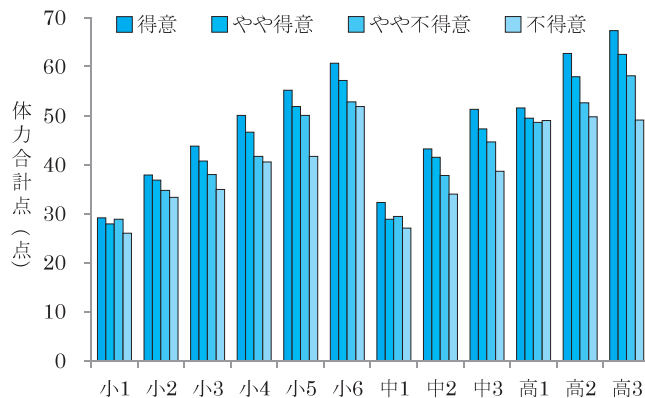
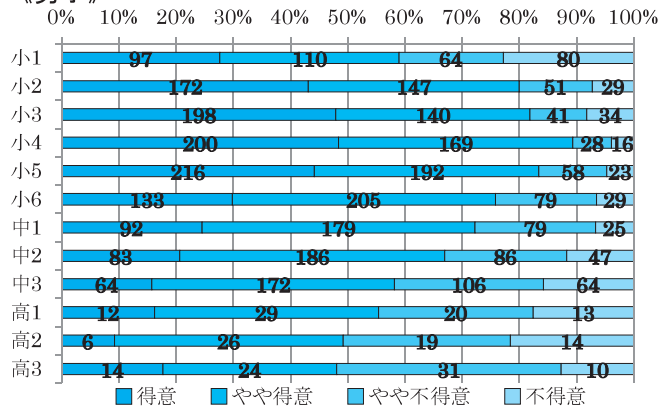
「7. 運動やスポーツの好き・嫌い」と比較して、「やや嫌い」と「嫌い」の割合は、高等学校1～3年生で7%～20%増加している。

全ての学年において、「好き」と回答した子どもは、体力合計点が高い傾向が見られた。

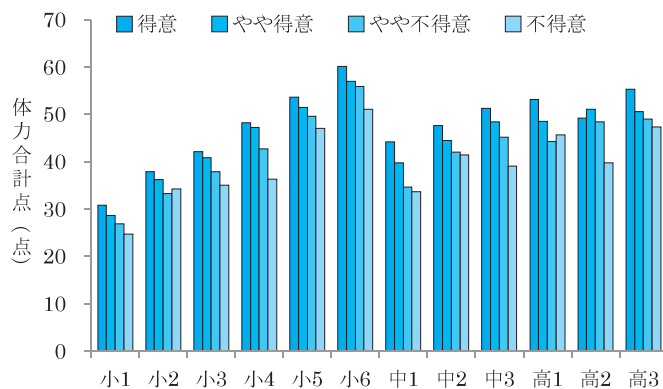
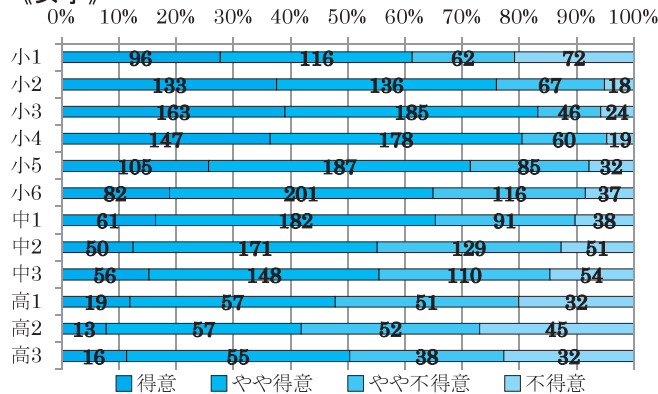
特に小学校1・3年生、中学校1・3年生で、「好き」と回答した子どもは、「嫌い」と回答した子どもよりも統計的に有意に体力合計点が高いことが認められた。

15. ウィンタースポーツの得意・不得意

《男子》



《女子》



「得意」と「やや得意」を合わせた割合は、小学校1年生から小学校4年生にかけて増加し、小学校4年生で89%と最も高く、小学校5年生から高等学校3年生にかけて減少し、高等学校2～3年生で50%を下回っている。

「8. 運動やスポーツの得意・不得意」と比較すると、「得意」と「やや得意」を合わせた割合は、冬期は夏期よりも全体的に低い傾向が見られたが、学年間の増減については同様の傾向が見られた。

全ての学年において、「得意」、「やや得意」と回答した子どもは「やや不得意」、「不得意」と回答した子どもよりも体力合計点が高い傾向が見られた。

特に高等学校1年生を除く全ての学年においては、統計的に有意に体力合計点が高いことが認められた。

「8. 運動やスポーツの得意・不得意」との比較においても同様の傾向が見られた。

「得意」と「やや得意」を合わせた割合は、小学校1年生から小学校3年生にかけて増加し、小学校3年生で83%と最も高く、小学校4年生から高等学校2年生にかけて減少し、小学校6年生、中学校1年生で65%程度、中学校2・3年生で55%程度となり、高等学校1・2年生で50%を下回っている。

「8. 運動やスポーツの得意・不得意」と比較すると、「得意」と「やや得意」を合わせた割合はほぼ同程度であるが、冬期は夏期よりも減少に転じる時期が遅い傾向が見られた。

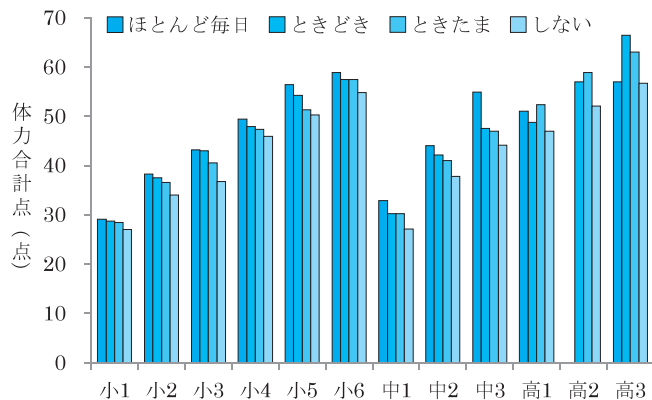
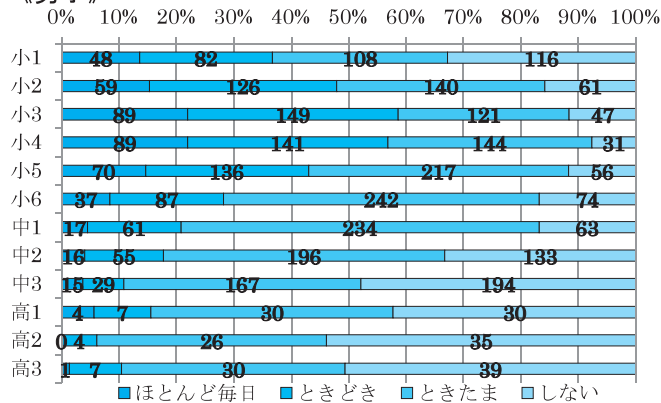
全ての学年において、「得意」、「やや得意」と回答した子どもは「やや不得意」、「不得意」と回答した子どもよりも体力合計点が高い傾向が見られた。

特に高等学校3年生を除く全ての学年においては、統計的に有意に体力合計点が高いことが認められた。

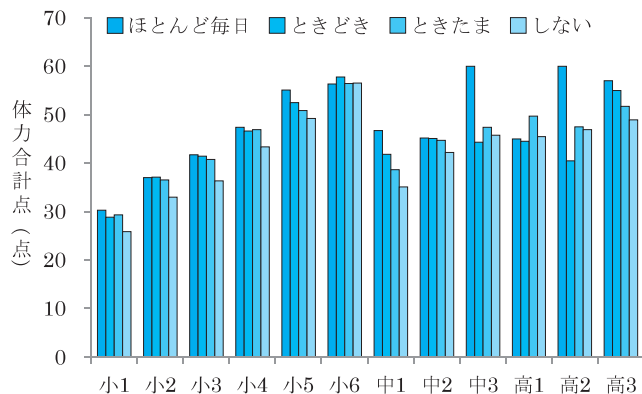
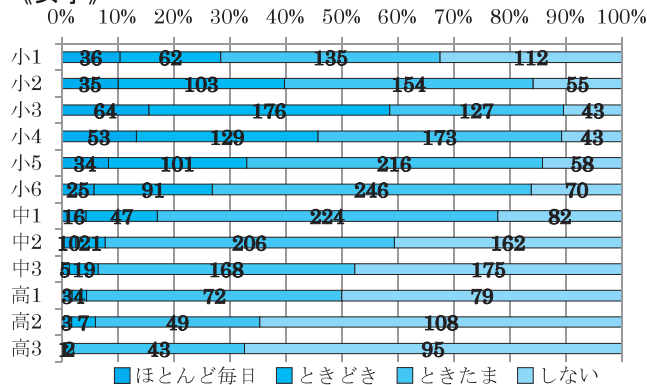
「8. 運動やスポーツの得意・不得意」との比較においても同様の傾向が見られた。

16. ウィンタースポーツの実施頻度（体育授業を除く）

《男子》



《女子》



「ほとんど毎日」と「ときどき」を合わせた割合は、小学校1年生から小学校3年生にかけて増加し、小学校3年生で58%と最も高く、小学校4年生から中学校3年生にかけて減少し、中学校1・2年生で20%程度、中学校3年生で10%程度となっている。また、「しない」割合は中学校2年生で急激に増加し、中学校3年生以降50%程度となっている。

全ての学年において、「ほとんど毎日」、「ときどき」、「ときたま」と回答した子どもは「しない」と回答した子どもよりも統計的に有意に体力合計点が高いことが認められた。

特に小学校2・3・5年生、中学校1～3年生、高等学校2・3年生においては、統計的に有意差が認められた。

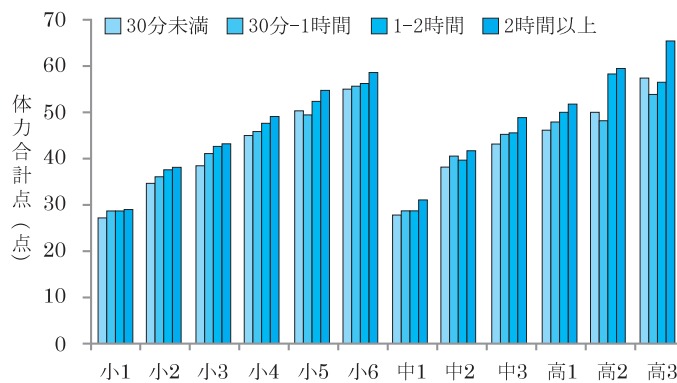
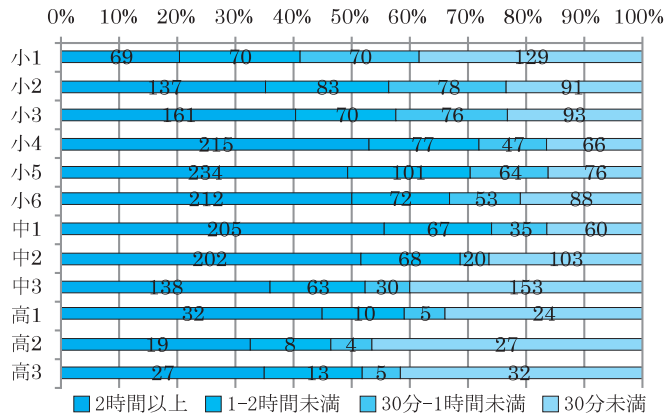
「ほとんど毎日」と「ときどき」を合わせた割合は、小学校1～3年生にかけて増加し、小学校3年生で58%と最も高く、小学校4年生から高等学校3年生にかけて減少し、中学校1年生で20%、中学校2年生以降で10%を下回っている。また、「しない」割合は男子同様、中学校2年生で急激に増加し、高等学校1年生以降50%を上回っている。

小学校1～5年生、中学校1・2年生、高等学校3年生において、「ほとんど毎日」、「ときどき」、「ときたま」と回答した子どもは「しない」と回答した子どもよりも統計的に有意に体力合計点が高いことが認められた。

特に小学校1～3・5年生、中学校1年生においては、統計的に有意差が認められた。

17. ウィンタースポーツの実施時間（体育授業を除く）

《男子》

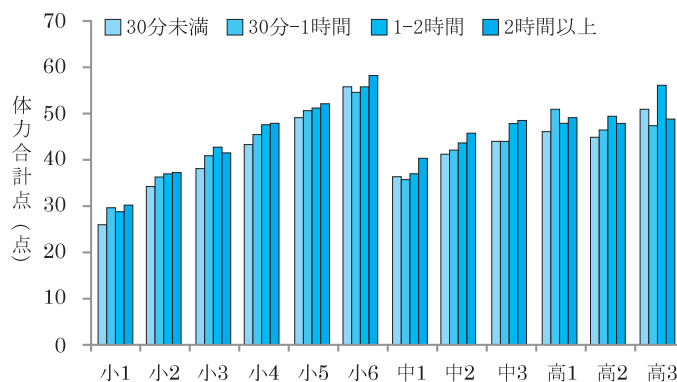
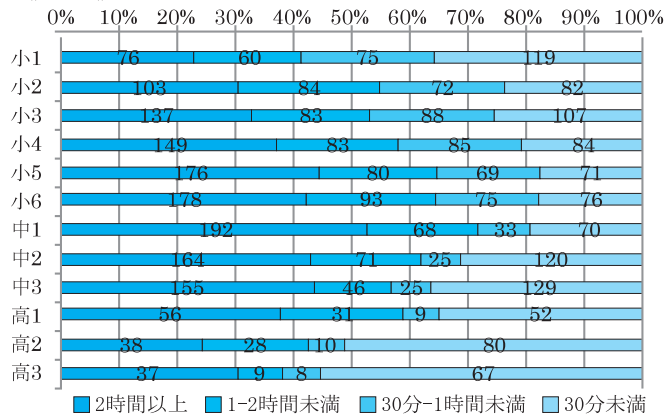


「2時間以上」と「1-2時間未満」を合わせた割合は、小学校1～3年生で40～60%程度に増加し、小学校4年生～中学校2年生では、中学校1年生が74%と最も高く、他は70%程度である。中学校3年生～高等学校3年生では50～60%程度に減少している。

「2時間以上」、「1-2時間未満」と回答した子どもは、「30分-1時間未満」、「30分未満」と回答した子どもよりも体力合計点が高い傾向が見られた。

特に、小学校1年生と高等学校1年生を除く全ての学年においては、統計的に有意に体力合計点が高いことが認められた。

《女子》



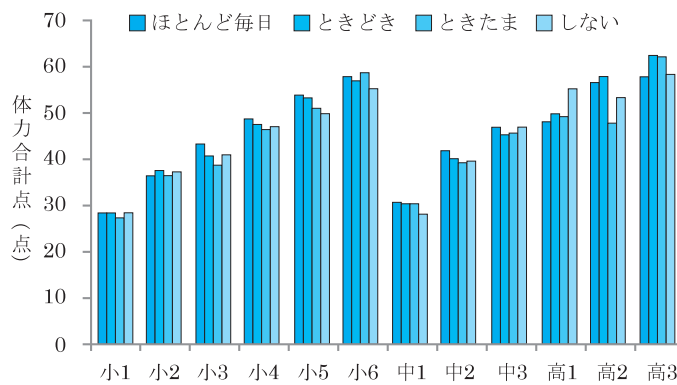
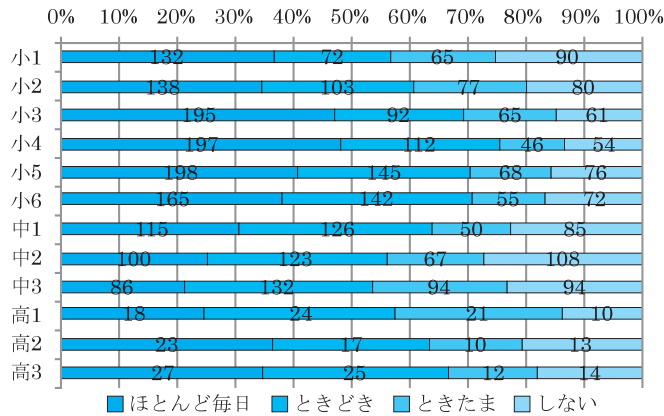
「2時間以上」と「1-2時間未満」を合わせた割合は、小学校1～4年生で40～60%程度に増加し、小学校5年生～中学校2年生では、中学校1年生が72%と最も高く、他は60～65%程度である。中学校3年生～高等学校3年生では40～60%程度と徐々に減少している。

「2時間以上」、「1-2時間未満」と回答した子どもは、「30分-1時間未満」、「30分未満」と回答した子どもよりも体力合計点が高い傾向が見られた。

特に、小学校5年生、高等学校1～3年生を除く全ての学年においては、統計的に有意に体力合計点が高いことが認められた。

18. 雪かきのお手伝いの頻度

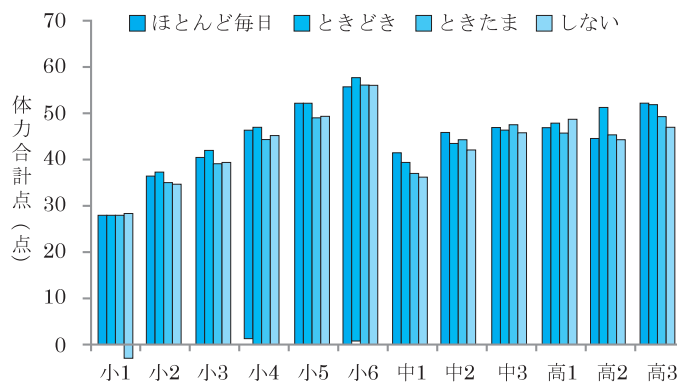
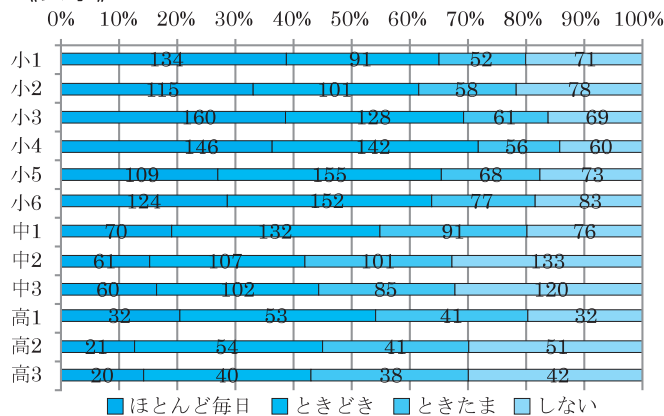
《男子》



「ほとんど毎日」と「ときどき」を合わせた割合は、小学校4年生が76%で最も高く、小学校1～6年生では60～70%程度と徐々に増加し、中学校1～3年生では55～65%程度と徐々に減少、高等学校1～3年生では60～70%程度と徐々に増加している。

「ほとんど毎日」、「ときどき」と回答した子どもは、「ときたま」、「しない」と回答した子どもよりも体力合計点が高い傾向が見られた。特に、小学校3・5年生、高等学校2年生においては、統計的に有意に体力合計点が高いことが認められた。

《女子》



「ほとんど毎日」と「ときどき」を合わせた割合は、小学校4年生が71%で最も高く、小学校1～6年生では65～70%程度、中学校1～3年生では40～55%程度に減少、高等学校1～3年生では45～55%程度であった。

「ほとんど毎日」、「ときどき」と回答した子どもは、「ときたま」、「しない」と回答した子どもよりも体力合計点が高い傾向が見られた。

特に小学校2・3・5年生、中学校1年生、高等学校2年生においては、統計的に有意に体力合計点が高いことが認められた。